

2025 年度 事業報告

1. 事業活動全般

2025 年度は「2025 年中期 3 ヶ年計画」の最終年度で、仕上げの年でした。会員数が 1,000 社を超える SIAA の現状と将来の姿を見据え、イノベーション（革新的、連続的）も意識しながら、次項の中計重点項目を中心に、積み残しが無いよう、活動を進めました。

また、委員会間での情報共有・連携を推進し、委員会活動の効率化と有効性を高めるため、委員長ミーティングを新設しました。次期中期計画案を委員長ミーティングでも議論し、施策を実行する委員会の視点も含め、幅広い視点で検討し案を策定しました。

中期 3 ヶ年計画

・ビジョン：

SIAA は、抗菌、防カビ、抗ウイルス、抗バイオフィルムの多くの機能において消費者に安心・安全・快適を提供します。具体的には、国内外の多数の加工製品メーカーが SIAA の会員となっており、その製品には SIAA マークが表示されています。SIAA マークは、消費者の皆さんにとって、ご購入やご使用の際の安心と安全の証となっています。

・パーパス（存在意義）

SIAA は、菌・ウィルス・カビなどに関する衛生について、消費者に安心・安全・快適を提供します。

・基本方針：

1. SIAA マークが、消費者にとって、対象製品の安心と安全の証となるように、より信頼性を向上させます
2. SIAA マークの認知度や評価をより向上させ、会員企業の参加満足度を高めます。
3. SIAA マークシステムを、グローバルで確立し、必要とされる海外地域に広げます。

会員数は昨年度から 73 社減少（入会：38 社、退会：111 社）し、2025 年度末で 994 社となりました。退会会社数には法定退会も含み、任意退会の理由の殆どは、抗菌事業からの撤退でした。

2. 重点活動計画（各番号は上記の基本行動方針に対応。各項目のカッコ内は、3 年間の中計目標に対する進捗度合いを示す。○：計画通り又はそれ以上、△：やや遅れ、×：大幅な遅れ）

1-1) 印刷カテゴリーの信頼性向上への取り組み（△）

紙印刷物の抗菌試験方法を継続検討し、目的を得ました。具体的には、JIS Z 2801 をベースとし、流動パラフィンで菌液の浸透を抑制する試験方法で、今後、試験所間再現性を確認していきます。また、印刷カテゴリーのあるべき姿や方向性等の中期計画を策定しました。

1-2) 定期登録更新制度の導入（○）

2023 年度に「会員情報の定期更新及び法令遵守状況等の確認に関するマニュアル」を制定し、この 3 年間で品質管理に係る情報提供、登録防カビ剤の該当法令の確認、OEM 先の SIAA マーク表示及び広告等の法令遵守状況を確認しました。

1-3) 市場 SIAA 登録製品の買い取り検査制度（○）

消費者からの更なる信頼性向上を目的として、市場からの製品買い取り検査を行ってきました。2025 年度は本制度の課題等を整理し、今後のあり方を検討しました。今後は、SIAA 登録製品の買い取り検査だけでなく、HP やカタログ等の法令遵守状況の確認等も含めて検討していきます。

1-4) 表示・訴求のコンプライアンス遵守（○）

薬機法や景表法への適切な対応を目的として、「加工製品の広告表記に関するガイドライン」を

制定し、従来から入会時の登録製品の広告等の確認や管理責任者講習会で啓蒙活動を進めてきました。2025年度もこれらの活動を継続すると共に、管理責任者フォローアップ研修会で化学物質管理に係わる法令の説明会を実施しました。

1-5) カテゴリーの拡大 (△)

2024年7月から「抗バイオフィルム加工製品（付着抑制）」の登録制度を開始しましたが、登録件数が1件（2026年3月時点）でした。委員会内アンケート等を基に、登録数拡大に向けた検討を進めると共に、今後の進め方等の議論を継続しました。

抗アレル加工製品は、試験方法の確立に向けた試験条件の検証を進めました。認証制度や薬機法への対応等の議論も進め、カテゴリー名を「特定タンパク質低減加工」（案）としました。

抗ウイルス製品は、これまで検討してきた難溶性抗ウイルス加工剤の評価方法（振とう法）の検討を進めると共に、抗ウイルス紙（すき込み品）の試験方法を議論し、来年度からの運用に向け準備を進めました。

2-1) 認知度や評価の向上 (○)

2025年度は、2024年度に策定したSIAA広報戦略を実行し、「一般消費者にSIAAマークの意味を理解していただく」活動を推進しました。具体的には、キャッチコピーを「見えない菌に、見える安心」とし、業界紙や消費者団体機関誌への広告掲載、新橋駅でのデジタルサイネージ（交通ビジョン広告）、また公式SNSチャンネル（YouTube、X（旧Twitter）、Instagram）を開設しました。

2-2) 参加企業の満足度を把握することの検討 (○)

各種講習会等で参加者へのアンケートを実施し、会員の皆様の要望を踏まえた活動を継続しました。

具体的には、2024年度開催した「SIAA会員が一堂に集う場」が高評価だったこともあり、2025年度は、著名人及び会員企業による講演会、会員企業や消費者団体等の広告パビリオンを設けた「SIAAフォーラム」を開催し、会員間や関連団体との情報交換の場を設けました。

更に、試験管理士制度の廃止に伴い中止とした試験管理士講習に代わり、会員の皆様に技術情報を提供する機会として「SIAA技術講習会（テーマ：今さら聞けない微生物試験の知識）」を開催し、参加者は450名を超え大変好評でした。今後も技術関連情報を分かりやすく伝え、共有する場として検討します。

3-1) グローバル視点での取り組み (○)

ISO/TC330（殺菌等に関する技術委員会）国際会議に参加し、国内審議団体（Pメンバー）として、日本の考えを明確に説明し議論しました。また、ISO/TC61（プラスチック）国際会議へも参加し、抗アレル加工製品の試験方法に関する予備提案を行いました。

また、APEC地域への抗ウイルス加工製品の試験方法（ISO 21702）とSIAAシステムの普及を目的として、経済産業省の協力を得ながらAPECセミナー（Workshop-1, RTT, Workshop-2）を実施しました。韓国抗ウイルス認証団体（KOTICA）からの要望に応え、抗ウイルス試験方法とSIAAシステムに関する研修を実施しました。

3-2) SIAAシステムのグローバル化 (○)

台湾での普及活動を継続すると共に、アジア地区での普及候補としてベトナムを設定し、現地3団体とコンタクトを開始しました。現在、その展開可能性を検討中です。

2026年度から海外会員も定期的性能チェック制度の対象とする予定であり、2025年度はまず中国会員に対してその説明会を管理責任者講習会と併せて実施しました。

以上

2025年度 収支決算
(2025年4月1日～2026年3月31日)

	2024年度 決済額 (円)	2025年度 予算額 (円)	2025年度 3月末実績 (円)	比較増減	備考
	(A)	(B)	(C)	(C-B)	
収入の部					
年会費	133,315,984	131,200,000	121,587,909	△ 9,612,091	・2024年度末会員数 1,067社 国内 919 海外 148 (正会員 1,042、賛助会員 11 特別会員 9、準会員 5) ・2025年度末会員数994社 国内 860 海外 134 (正会員 970、賛助会員 11 特別会員 9、準会員 4) 入会 38(内 22、外16) 退会 111 中国96⇒91 台湾23⇒22 韓国20⇒13
入会金	3,623,327	7,000,000	3,507,685	△ 3,492,315	入会38社(国内 22、海外 16)
講習会収入	1,586,508	1,450,000	2,191,111	741,111	管理責任者
総会・懇親会参加費					
試験方法ISO化収入					
JIS改正原案作成収入					
抗菌技能試験収入		1,040,000	1,146,502	106,502	試験参加費
寄付金収入					
ホームページ広告収入	1,440,000	1,440,000	1,440,000	0	12社
生命保険料返戻金					
雑収入	3,738,742		4,154,979	4,154,979	印税38,301 還付加算金26,300 債権 回収30,960 保険解約返戻金 4,059,418
収入合計	143,704,561	142,130,000	134,028,186	△ 8,101,814	
支出の部					
諸会議費	12,758,338	4,000,000	3,607,991	△ 392,009	総会、理事会、9月9日等
委員会活動費	40,181,997	62,100,000	55,689,666	△ 6,410,334	別紙参照
業務委託費	22,861,782	18,680,000	18,709,381	29,381	事務局人件費(4名)
旅費交通費	4,302,482	2,500,000	2,288,507	△ 211,493	事務局・講師交通費等
印刷費	3,389,868	3,350,000	3,105,648	△ 244,352	総会資料等印刷費、コピ代
通信運搬費	376,362	375,000	363,710	△ 11,290	電話、郵送、HP接続料、
事務所費	8,361,390	8,350,000	7,848,000	△ 502,000	事務局家賃
光熱水料費	466,766	450,000	397,225	△ 52,775	光熱水道料
備品費	524,800	530,000	302,800	△ 227,200	PC周辺機器、ソフ代、机等
修繕費					
事務用品費	70,045	70,000	37,490	△ 32,510	文具代、コピ用紙、封筒代等
租税公課	8,476,850	40,000	1,414,200	1,374,200	
減価償却費	138,509	140,000	138,588	△ 1,412	
福利厚生費	81,546	80,000	40,600	△ 39,400	健康診断関係
厚生費	118,183	30,000	54,546	24,546	表彰、報奨会員
図書費	153,164	150,000	161,164	11,164	新聞、学会誌、書籍代等
渉外費	655,003	755,000	802,277	47,277	プラエ連等団体会費等
支払手数料	3,452,500	3,000,000	2,481,032	△ 518,968	商標、経費処理費等
特別活動費					顧問等活動費、特別企画費
試験方法ISO化支出					
抗菌技能試験支出			1,188,000	1,188,000	
JIS改正原案作成支出					
定期的性能チェック制度	16,866,364	16,000,000	14,790,910	△ 1,209,090	預り分相殺済
ホームページ管理委託費	4,280,343	4,200,000	4,198,849	△ 1,151	
ホームページ改訂費					
基準調査研究支出					
ISO審議委員会	204,489	100,000		△ 100,000	
APECセミナー支出			1,921,357	1,921,357	
諸雑費	2,819,999	2,800,000	2,205,805	△ 594,195	事務局経費(販促品等含む)
貸倒損失	730,000	0	15,009,975	15,009,975	国内3,610千円、海外11,400千円 会費未払いを計上
予備費					
社会保険料	3,288,254	2,600,000	3,105,638	505,638	健康保険、厚生年金保険
保険料	1,628,924	1,630,000	1,174,599	△ 455,401	傷害保険、生命保険
為替差損					
雑損失	9,408,088	9,400,000	9,437,322	37,322	消費税処理
法人税等	518,600	70,000	70,000	0	利益96,000円以下
支出合計	146,114,646	141,400,000	150,545,280	9,145,280	
収支差額	△ 2,410,085	730,000	△ 16,517,094	△ 17,247,094	
次期繰越金	△ 2,410,085	730,000	△ 16,517,094	△ 17,247,094	

2025年度 委員会活動費

別紙

支出の部

	2024年度 決算額 (円)	2025年度 予算額 (円)	2025年度 実績額 3/31現在 (円)	比較増減	
	(A)	(B)	(C)	(C-B)	備 考
委員会活動費					
中期計画戦略委員会	2,132,730	600,000	537,721	△ 62,279	
国際展開委員会	4,013,410	3,000,000	4,350,436	1,350,436	
SIAA広報委員会	6,502,295	25,150,000	19,921,625	△ 5,228,375	
制度運営委員会		5,000,000	3,232,432	△ 1,767,568	
技術・制度運営委員会	6,051,002	4,000,000	4,069,986	69,986	
安全性委員会	145,500	300,000	199,607	△ 100,393	
防カビ委員会	2,718,033	3,000,000	2,984,182	△ 15,818	
抗ウイルス委員会	3,637,904	4,000,000	4,515,932	515,932	
バイオフィルム委員会	4,407,482	6,000,000	6,155,249	155,249	
抗アレル委員会	4,783,484	4,500,000	4,694,422	194,422	
国際標準化委員会	1,439,371	2,050,000	637,577	△ 1,412,423	
印刷準備委員会	4,350,786	4,500,000	4,390,497	△ 109,503	
合 計	40,181,997	62,100,000	55,689,666	△ 6,410,334	